

Npo法人 つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成30年度)

	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
		9月	19日	水曜	13:30	15:30	藤金市民の森
活動名称	藤金市民の森 藤小自然体験学習					報告者：吉井	

＜主な活動内容＞

イベント活動の場合の参加者数(里山スタッフ含む(86人))

7月10日 14:00～15:20 藤小3年2クラス80名に魚捕りと、竹切り体験会実施

藤小側の大谷川支流で魚捕り実施、この場所は必ずカダヤシが捕れるところであるが、メダカに似ているこの特定外来種が鶴ヶ島の河川に大量にはびこっていることの実事を知ることができた。結果、魚は1匹も捕れなかったが、ザリガニが6匹捕れた。

この魚とりは、大人気であった。

藤金市民の森の広場にブルーシートをひき、竹林から切ってきた竹を輪切りにする体験活動を実施、ノコギリを初めて使う子供もおり、中には夢中で切断作業を続ける子供もおり良い体験活動になった。

9月19日 13:50～15:20 魚捕りと、森の樹木に名札付け体験実施

藤金市民の森側の大谷川本流で追い込み漁実施。下流で人でガサガサ網3個を使い、魚捕り上流から10人で魚を追い込み全部捕まえる作戦実施、結果1匹も捕れなかったが、数年前は、必ずオオグチバスが捕れたので、大谷川本流からオオグチバスが消えた可能性あり。

樹木名札付け体験は、まず荒川流域ネットワークの鈴木さんに木の種類と名前を覚えてもらい、子供たちが森に広がり名前の解った木に名札を付ける。ひとつでも二つでも木の名前を覚えることから里山の樹木に関心をもって、その先の生態系まで関心を広げてくれることを期待したい。

協力団体；荒川流域ネットワーク 中央支えあい協議会

＜里山参加会員＞ 7/10 吉井、小沼、牛島、小澤ク、小澤弘

9/19 吉井、小澤ク、小澤弘、小沼、井上

＜活動写真＞

